



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話 33033番
33034番
兼人 益田 紀生
年600円 送料共

おねがい
組合員・家族の皆さん、みんな
で本紙「みいけ」をつくり出しま
しょう。あらゆる形での協力添え
をお願いします。 編集部

三井 川口さんに退職強要

「市長立候補は迷惑」 大地評、「粉砕」に立つ

このほど三井東洋化学(大牟田
工業所長川口康三)が、さき
行なわれた大牟田市長選挙に、社
会党・共産党をはじめとする全
主勢力の推せんを受けて立候補し
た川口六平さん(同社の社員)に
対して、憲法じゆりんの退職強
要を行なったことが明らかとな
り、いま大牟田地評に結集され
て、

CO団交いよいよ開始 見逃せない 監督局の姿勢

三井鉱山
の災害責任
を追及し、
CO要求を
獲得するた
めの団体交
渉が、十四
日の三池現
地の交渉
をもって開
始した。
こんどの
団体交渉は
資本側の抵
抗を覚悟し
なければな
ないといふ
見方がある
が、しかし
この闘争を
包んでいま
まわりの情
勢は、それ
をひととき
重要なもの
にしてきて
いる点を、
見のがして
はならない。
去る十一日、
CO患者家族
の会を中心に、
CO
遺族の問題
の正しい解
決の一途
として要請
を行った際
に見せた、
いは「双方
医師の見解
を話し合

対して、憲法じゆりんの退職強
要を行なったことが明らかとな
り、いま大牟田地評に結集され
て、
を期している「など、逃げの一点
ばりだった。とすれば局のこの態
度こそ、会社との団交の重要性を
自ら認め出して見せなければなら
ない。この事実を改めて注目しな
ければならぬことである。
第四十二回大牟田地区統一
メーデーは、自民党の人間無
視の経済成長政策に対する
「勤労国民の人間尊重と革新自
治をめざす団結と統一の日」で
あります。
今統一地
方選挙にお
ける勝利は、
現
代資本主義
が迎えた本
質的な矛盾
と、すでに
歴史の指導
性を失った
にもかかわ
らず、アメリ
カイン
ドンナ侵略
や中国覇権
政策に切
加担し、司
法の反動化
に象徴し
られるファ
シズムの危
険な
ます。
第四十二回大牟田地区統一
メーデー大会宣言
一九七二年五月一日
第四十二回大牟田地区
統一メーデー大会
(以上は要約)

21日第二波二四スト

住友つつみ闘い強化

組合員二百人を結集しての中央
行動、全山二十四時間のストライ
キ(住友三山の労働は別に二十四
時間スト)などの行動をもって春
闘をすすめてきた炭労は、ひきつ
づいて一三波に及ぶストライキ
やその他の行動をつみあげながら
要求獲得をめざし、闘いを強化す
ることとなった。
春闘の指導はこれまでにかわら
ず、次の三項である。
一、大幅賃上げなど春闘諸要求
(既報)の獲得。
二、第四次石炭政策の変更。
三、住友三山(弁別、歌志内、赤
平)いずれも北海道)の再建と
つた」として、資本の真のねらい
をかくそうとされている。
ところが実際に見られることは
許すことのできない暴言だった。
あなたが市長選に出馬した
ので、世間に会社があなたを推せ
んしたような印象を与えて、迷惑
している。良心的に考えるならや
めるべきだ。
――細谷治嘉代議士が出馬(大
牟田市長)にしたときは、会社を
やめている。あなたもそうするの
が当然だった。
そのとき川口さんは「労働協約
や就業規則にも違反してないの
に、何のうか」と席を立ててい
る。これが果して加藤の善意から
でたものかどうか。それどころか

長期安定策の確立。
闘争の具体的な計画は、①第一
波(きたる二十一日大手五社(三
井、三菱、北炭、太平洋、それに
住友)各支部の二十四時間スト
イキ。他各支部は時間内に食糧
む職場集会を行う。②第二波(第
一波と同じ闘いの展開。③第三波
以降は大手五社各支部は第三週以
降毎週火、水曜の四十八時間スト
ライキ、その他各支部は毎水曜二
十四時間ストライキの反復。(後
略)
その他の行動としては、十八日
以降北海道と東京で組合員の座り
こみを行なうが、情勢の推移次
第では住友三支部代表を中心とし
てハントに突入し、要求貫徹を
期しており、交流オルグによる意
志統一も計画。去る七八日問題
の住友三支部から三人のオルグ
(弁別支部労働部長の佐藤さん
ら)が来組、本部(宮浦三川)で
交流し、理解を深めた。
炭労は、こうして闘いを強化し
てゆく。



大牟田地評(浦川守議長)は結
集している全労働者に真実を訴え
「これは川口さん一人に対する
攻撃にとどまらず、明の民主派
選挙を
市長選を
市展浴
選し拍
全伸拍
補きつ
候を立
一をに
得票上
で、得
選挙が
員した
議者メ
市北の
の取開
大牟切
大牟切

三井の圧制「許さぬ」

春闘・参院選の奮闘誓う

第四十二回大牟田地区統一メー
デー大会は、例年の通り五月一日
豊原公園で開催され、労働者とし
ての家族、市民、革新政界関係者が
集まり、統一地方選挙の勝利を足
場にして、さらに春闘から参議院
議員選挙につづく重要な闘いに奮
闘することを誓い合った。
大会は全参加者の総意を結集し
「三井の政治路線の粉砕」などの
決意を託した大会宣言(別項参照
のこと)を発表、また三十四項に
のぼる大会スローガンを採択し
た。中でも全国共通の中心スロー
ガンは次りである。
★大幅賃上げ獲得、労働時間短
縮、全国一律最賃制確立、首
切り合理化粉砕。
★公共料金、物価値上げと重税
反対、公害絶滅、医療保険制
度の抜本改善反対、社会保険
制度の大幅拡充、失対打ち切
り粉砕。
★安保条約破棄、沖縄の完全返
還、沖縄全軍労働争奪支援の強
化、インドナ侵略反対。
なお大会終了後、全参加者は堂
々と大牟田市の中心街をデモ行進
大会のもつ意識を市民に訴えた。



これはあきれた――
有明地区労働者のメ
デー
ない、新大牟田市長に
当選した保守の山田鶴
一さん乗る車を先頭に
数台からなる自動車パ
レード。
しかも山田鶴さんの車
には、れいれいしく日
丸の旗が……。これが
なんと有明地区労働者の今年メー
デー行進だったとは。

合化の三労組 ストで抗議

会社が川口六平さんに対して、
市長選挙に立候補したことを口実
に、退職を強要する事態が発生し
た三井東洋化学大牟田工業所の三
労働組合は、十四日正午から同工
業所正門前広場で、春闘要求貫徹
・加藤暴言に抗議する合同決起集
会を開催、会社の責任を追及す
るとともに、恐ろしい企図を
粉砕するため闘うことを誓った。
なお東洋労働(杉本浩三委員長
三三八〇人)は同日午後一時から
三時間の抗議ストライキを、また

三化労組(長島重義委員長二二
二〇〇人)と三合労組(松本寛次
郎委員長一四〇〇人)は、会社の
ねらいに対する怒りをこめて、ひ
とまずその午後一時をもって終
わることにして、春闘要求の
貫徹をめざした。ストライキを、
さらに三時間延長して抗議した。